

改正
活補

卷之七

和漢年代記 七

朱雀	村上	冷泉
圓融	花山	一条
三条	後一条	後朱雀
後冷泉	後三条	白河
堀河	鳥羽	崇徳
近衛	後白河	二条
六条	高倉	安徳

漢 後唐の明宗の長興
二年より宋の孝宗の淳
熙十年までの事





改正和漢年代紀卷之七



兼平

六 朱雀

一 諱、寛明。先帝才十
一 乃皇子。母、関白太

辛卯

●楚の馬希彦。元○九

政大臣基經の女。自美后。穩
子と云位。在。十六年○六

●唐。五方の鷹。集
と解。縦つ。○関。宝皇
官と作る

月八日。季。つ。○七月十九日。宇多の法皇。崩御。壽六十五
九月五日。大内山。の陵。宇多野。火葬。と。○元禄

後唐の宗姫の長女二

二 八月四日。藤原。北定。方。死す。○九月。壬辰

●吳越の元璣。元○二月。三

廿二日。大嘗會。依。て。一代。一度。の
大神室。と。伊勢。の。兩宮。を。奉。ら。る。
○十一月十三日。大嘗會

唐。初。て。九經。の。版。と。刻。
紙。を。印。て。賣。○九月。楚
の希彦。死す。と。つ。ぐ

三

二月十三日藤原の仲平右大臣
臣に任じ
楚乃馬季範
鳳皇帝
寛啓元
十一月明宗崩す
四

十月十九日東大寺北西塔
火
同日廿二日南海道山陽
道に盜賊とて官軍を遣
し
甲午
諱從厚
明宗
子也
四月廢せらる
三

三月六日延曆寺中堂焼
乙未
後
才
高祖
唐の從珂
自焚死
唐四
代十三年
之亡
教塘
位
二

六月南海の賊藤原乃純
丙申
後
才
高祖
唐の從珂
自焚死
唐四
代十三年
之亡
教塘
位
二

二月忠平
吳越王の書を遣す
同日九日忠平
大政大臣に任じ
乃祖
通文
元
一
高祖
唐の從珂
自焚死
唐四
代十三年
之亡
教塘
位
二

正月四日帝御元服
廿五日
仲平
左大臣に任じ
藤原
乃恒佐
右大臣に任じ
契丹
國と遠
改じ
會同
元
〇
二

四月十五日大地震
〇五月吾
恒佐死す
〇十二月六日大
雪
ふり
一
夫
後
羅
廣政
元
〇八月
晉
契丹
子
尊号
と上る
〇晉
三

十二月廿六日備前の芥子高
巳亥
南唐
姓と李氏
す
〇七月
風乃
儀祖
弒して
位は
即
隆
と年号
と
〇十一月
晉
四

正月十八日藤原の忠文を征
庚子
仙寺
と作る
と
林
禁
す
五

二月廿六日備前の芥子高
巳亥
南唐
姓と李氏
す
〇七月
風乃
儀祖
弒して
位は
即
隆
と年号
と
〇十一月
晉
四

二月廿六日備前の芥子高
巳亥
南唐
姓と李氏
す
〇七月
風乃
儀祖
弒して
位は
即
隆
と年号
と
〇十一月
晉
四

二月廿六日備前の芥子高
巳亥
南唐
姓と李氏
す
〇七月
風乃
儀祖
弒して
位は
即
隆
と年号
と
〇十一月
晉
四

二月廿六日備前の芥子高
巳亥
南唐
姓と李氏
す
〇七月
風乃
儀祖
弒して
位は
即
隆
と年号
と
〇十一月
晉
四

二月廿六日備前の芥子高
巳亥
南唐
姓と李氏
す
〇七月
風乃
儀祖
弒して
位は
即
隆
と年号
と
〇十一月
晉
四

<p>夷將軍すす○二月廿五日信濃より今月十日將門下總比率 嶋と合戦一平比負盛藤原の秀之よ殺るる一と美す○ 三月九日秀之負盛位を授る○其世藤原の公雅よ殺るる</p>	<p>五月十九日小野の好吉賊徒幸七 大宰府に掠るる一と幸 よて忠文と征西將軍と○六月廿日橋の遠保純友と討殺す</p>	<p>四月廿九日昭て鴨乃社幸 ○同廿七日石清水臨時祭 とトまる○八月十日大凡大雨</p>	<p>六月九日御前の子其奥 あり○三月四日大宰府よ 牛尾二つ足八つれ特と心</p>
<p>八月吳越王元瓘死す子 乃弘佐にぐ</p>	<p>四月南漢の王死す子玠玠 南漢の殤帝 光天元</p>	<p>六月高祖崩す</p>	<p>建出帝 谷董貴高祖の八 甥なり 南唐元 宗璟保大 國乃延政 天德 南漢の晟乾和元</p>

<p>七月九日長谷寺なる○二月甲辰 九日実頼右府に任じ○同廿 二日成明親王と太子と○九月二日天下大凡</p>	<p>八月朔日仲平出家五日死し己 も枇杷の左大臣と号す</p>	<p>九月廿日位と太子とゆづり 廿六日大上天皇の号と上る廿 八日即位○七月十日皇孫朱雀院に遷り○十月九日皇會</p>	<p>天曆 六村上 諱成明 醍醐十丁未 四皇子先帝の 弟也位に在り廿年○四月 廿五日仁王會と修す○六月 り抱齋とやる○七月三日大凡</p>
<p>三月鳳城文進 曠と殺し て之りりりり</p>	<p>八月唐の兵闖とるの延政 降参す 闖交五年と云ふ 契丹 晋と破ら 出帝と 殺す 晋二代十年と云ふ</p>	<p>後高祖 姓劉名高 字知遠 晋に 仕て北平王となり 出帝と 殺す 晋に るる 晋に即位す 國と後漢 と云ふ 遼三世宗 天祿 吳</p>	<p>後高祖 姓劉名高 字知遠 晋に 仕て北平王となり 出帝と 殺す 晋に るる 晋に即位す 國と後漢 と云ふ 遼三世宗 天祿 吳</p>

年代記

卷之七

○八月帝。上皇。に御抱瘡

越王弘保。元年

二 五月廿日藤原の實頼。自白

才 隱帝

詔ハ兼祐。高祖乃 乾

とたり。○六月七日。日。二つづろ

甥ガリ正月高祖。祐

崩じ。つて位。即。●吳越王弘淑

●楚。馬希廣乃元

三 四月廿七日。皇。真福寺。元千

巳酉 ●南平王保融。元

二

僧供養。○八月。十四日。忠平死す。正一位。贈り。眞信。公。と。謚。と

○九月。廿二日。陽成帝。出家。廿九日。崩御。壽。八十二。歳。十

月。三日。神。奈。世。乃。東。の。地。よ。と。り。つ

四 五月廿日。菅。丞相。左大臣。と。贈

●楚。乃。馬。希。萼。元。○十月。三

○同。廿四日。冷泉。生。し。の。の。七月

漢。の。郭。威。隱。帝。と。執。位。即

廿三日。憲。平。親。王。と。太子。と。の。十月。廿日。菅。丞相。大。政。大臣。と。贈

姓。ハ。郭。名。威。廣

五 十月。後。撰。集。と。る。の。空。辛。亥

後。才。太祖

字。ハ。仲。文。因。順

と。り

と。後。周。と。子。●。遼。四。穆。宗。成

曆。元。○正月。漢。乃。郊。曼。帝。と。なり。尚。乾。祐。年。号。と。用。ゆ。○南。唐

楚。と。ほ。ろ。が。す。楚。六。代。五。十。六。年。と。して。ほ。ろ。ふ

六 二月。廿四日。上。皇。節。と。落。一。位。季

唐。邊。鐔。と。饒。列。よ。に。が。す

陀。寺。一。居。の。法。の。諱。ハ。仏。陀。壽。八月。十五。日。崩。御。壽。三。十。歳

七 二月。雲。林。寺。一。塔。と。り。の。八。季。在

六月。周。七。九。經。乃。板。成。就。す

月。大。藏。經。五。十。四。八。卷。と。写。し。て。上。皇。に。進。善。と。す

八 二月。法。性。寺。乃。塔。と。り。の。甲。寅

才 二世宗

姓。ハ。此。本。名。ハ。榮。太。顯

九月。十四。日。帝。兄。重。明。親。王。薨

祖。乃。養。子。ガ。リ。正。德

月。太。祖。崩。す。つて。位。即。○十月。北。漢。乃。劉。曼。死。す。子。ハ。承。鈞。つ。く

九 六月。九日。菅。丞相。北。野。宮。に。達。す

九月。周。一。つて。錢。と。鑄。ろ

二

十 淨。藏。八。坂。乃。塔。に。傾。つ。と。丙。辰

八月。周。欽。天。曆。と。行。ふ。周。花

三

加。持。し。て。な。と。と

山。乃。隱。者。陳。搏。と。り。に

天 四月廿二日女御安子。師輔の己
 德 五十九年と賀せらる

二 六月十五日六孫王経基よ源の卒
 姓よあつり同日二条の院やふ
 〇国七月九日狂女。人と食せ
 よ女鬼といふ。〇十月廿四日
 基死す。〇乾元大室の鏡よわ

三 三月二日内膳。生しあふ。〇五月七
 日藻壁門の額よ道代よ春
 〇〇十二月七日内殿の角よ
 橘よ栽る。〇九日。日。出る。〇今年人の頭腫る世よ福来病といふ

四 三月十九日天王寺焼る。〇八月
 廿二日顯忠。右大臣よ任す。〇
 〇正月恭帝。位よ趙匡胤よ
 禪る。周二代九年よ宋よ禪

三 三月二日内膳。生しあふ。〇五月七
 日藻壁門の額よ道代よ春
 〇〇十二月七日内殿の角よ
 橘よ栽る。〇九日。日。出る。〇今年人の頭腫る世よ福来病といふ

二 五月廿九日洪水。〇八月六日
 一度よ一乃男。二乃女といふ
 〇二月廿八日太子元服。〇八月廿
 三日空也鴨川原よ万灯
 會。〇同月嚴山の慈惠と南
 都の仲筭と宗論

一 二月廿八日太子元服。〇八月廿
 三日空也鴨川原よ万灯
 會。〇同月嚴山の慈惠と南
 都の仲筭と宗論

和 二月十六日内禪柱立。〇十月
 七日公家。方僧供養。〇同廿日帝
 新造乃心裏よ造る

三 二月廿八日太子元服。〇八月廿
 三日空也鴨川原よ万灯
 會。〇同月嚴山の慈惠と南
 都の仲筭と宗論

保 二月廿八日太子元服。〇八月廿
 三日空也鴨川原よ万灯
 會。〇同月嚴山の慈惠と南
 都の仲筭と宗論

青 廿一日淨藏。寂と
 甲子 十月宋の范質死す

北漢 天會元七月七廟と
 〇

南唐 中興 〇南漢の刘鋹
 大元 〇三月世宗。自唐
 〇唐益江北の地と於て
 彩。五月唐乃璟。名と景と
 久帝号と去

三 恭帝 〇六月世宗崩
 譚宗訓。世宗子。六
 〇

北 〇太祖
 姓趙。名匡胤。建
 隆

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

二 四月廿四日顯忠死す。八月二日正月宋の王入京。馬のり。三
 日清涼殿の前、猿系を百
 て御覽

三 正月十六日高明親王右大臣
 任じ。十月廿八日天台山、燒
 る。十月廿七日道凡死す

四 五月帝御惱より廿六日卯
 國よ六千本、來都謀と立り廿五日崩御。壽甲二。太子禪
 受り。六月四月山城、村山の陵に葬らる。同廿二日定頼、疾
 自りなる。九月朔、守平親王と太子をす。十月十日即位
 ○十二月十三日実頼。太政大臣に任じ

和安
 三六
 三冷泉
 才二斤皇子。母ハ
 成辰 七月北漢乃築城死す子
 乃繼恩、後、九月、鄭重為

右大臣師輔の姪、安子と云
 位に在り。二年。○七月、春東
 大寺、真福寺と田と論じて、合戦と。○十月、廿六日、花山院に
 まれり。○十月廿四日、大嘗會。元祿六年まで、七百廿六年、な
 二 三月左府高明と太宰乃巳 ● 遼五景宗保寧元

權仲、藤原の十、晴、繁延、おと流と。○八月、十一日、太子
 禪と受り、師、真親王と太子と。廿五日、冷泉院に、大上天
 皇、此号と上る。○九月廿三日、即位。○十月十五日、師死す

天
 六
 四圓融
 講守平、先帝に
 奉 宋潘美を遣、南漢を伐

左大臣に任じ、伊予右大臣に任じ。○五月十八日、攝政実頼死
 廿日、尾張公を封じ、清慎公を諡と。○十月、在衡死す

二 三月八日、石清水臨時祭。○癸未二月、潘美、南漢北軍を破

年代已

卷之二

十月二日	伊弉。大臣に任じ	三	十月二日	伊弉。大臣に任じ	三
正月三日	帝。御元服。二島甫	三	正月三日	帝。御元服。二島甫	三
三月七日	大和。水精乃。碎り。齋	三	三月七日	大和。水精乃。碎り。齋	三
四月廿二日	禁星。い。け。ろ	三	四月廿二日	禁星。い。け。ろ	三
五月三日	三。糸。の。隠。ひ。ま。れ。し。丙。子	三	五月三日	三。糸。の。隠。ひ。ま。れ。し。丙。子	三
五月十一日	内。裡。や。ろ。ろ	三	五月十一日	内。裡。や。ろ。ろ	三
六月廿二日	禁星。い。け。ろ	三	六月廿二日	禁星。い。け。ろ	三
七月廿四日	雷。清。明。が。宅。に	三	七月廿四日	雷。清。明。が。宅。に	三
八月	大地。震。き。々。か。り。く	三	八月	大地。震。き。々。か。り。く	三
九月	倒。り。く。ひ。と。り。く。ま。て。あ。ま。ま。ず	三	九月	倒。り。く。ひ。と。り。く。ま。て。あ。ま。ま。ず	三
十月	親。王。し。か。ろ。○。七。月。八。日。佐。理。門	三	十月	親。王。し。か。ろ。○。七。月。八。日。佐。理。門	三
十一月	乃。額。と。昏。せ。九。日。帝。新。造。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三	十一月	乃。額。と。昏。せ。九。日。帝。新。造。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三
十二月	白。と。な。ろ。○。十。月。八。日。前。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三	十二月	白。と。な。ろ。○。十。月。八。日。前。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三
正月	七月廿四日。雷。清。明。が。宅。に	三	正月	七月廿四日。雷。清。明。が。宅。に	三
二月	三月廿七日。石。清。水。の。事。○	三	二月	三月廿七日。石。清。水。の。事。○	三
三月	四月廿二日。備。中。の。飯。に。じ	三	三月	四月廿二日。備。中。の。飯。に。じ	三
四月	く。な。り。物。少。く	三	四月	く。な。り。物。少。く	三
五月	二月廿五日。公。任。元。服。○。六。月。庚。辰	三	五月	二月廿五日。公。任。元。服。○。六。月。庚。辰	三

三 五月大和。德。韶。禪。師。寂。す

三 八月宋。の。趙。普。吳。越。に。討。つ

三 九月宋。曹。彬。と。遣。し。て。唐。七

三 十月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 十一月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 十二月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 正月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 二月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 三月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 四月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 五月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 六月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 七月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 八月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 九月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 十月。唐。の。破。る。李。煜。八

十月二日	伊弉。大臣に任じ	三	十月二日	伊弉。大臣に任じ	三
正月三日	帝。御元服。二島甫	三	正月三日	帝。御元服。二島甫	三
三月七日	大和。水精乃。碎り。齋	三	三月七日	大和。水精乃。碎り。齋	三
四月廿二日	禁星。い。け。ろ	三	四月廿二日	禁星。い。け。ろ	三
五月三日	三。糸。の。隠。ひ。ま。れ。し。丙。子	三	五月三日	三。糸。の。隠。ひ。ま。れ。し。丙。子	三
五月十一日	内。裡。や。ろ。ろ	三	五月十一日	内。裡。や。ろ。ろ	三
六月廿二日	禁星。い。け。ろ	三	六月廿二日	禁星。い。け。ろ	三
七月廿四日	雷。清。明。が。宅。に	三	七月廿四日	雷。清。明。が。宅。に	三
八月	大地。震。き。々。か。り。く	三	八月	大地。震。き。々。か。り。く	三
九月	倒。り。く。ひ。と。り。く。ま。て。あ。ま。ま。ず	三	九月	倒。り。く。ひ。と。り。く。ま。て。あ。ま。ま。ず	三
十月	親。王。し。か。ろ。○。七。月。八。日。佐。理。門	三	十月	親。王。し。か。ろ。○。七。月。八。日。佐。理。門	三
十一月	乃。額。と。昏。せ。九。日。帝。新。造。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三	十一月	乃。額。と。昏。せ。九。日。帝。新。造。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三
十二月	白。と。な。ろ。○。十。月。八。日。前。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三	十二月	白。と。な。ろ。○。十。月。八。日。前。乃。内。裡。よ。り。初。て。珠。と。ま。く。く	三
正月	七月廿四日。雷。清。明。が。宅。に	三	正月	七月廿四日。雷。清。明。が。宅。に	三
二月	三月廿七日。石。清。水。の。事。○	三	二月	三月廿七日。石。清。水。の。事。○	三
三月	四月廿二日。備。中。の。飯。に。じ	三	三月	四月廿二日。備。中。の。飯。に。じ	三
四月	く。な。り。物。少。く	三	四月	く。な。り。物。少。く	三
五月	二月廿五日。公。任。元。服。○。六。月。庚。辰	三	五月	二月廿五日。公。任。元。服。○。六。月。庚。辰	三

三 五月大和。德。韶。禪。師。寂。す

三 八月宋。の。趙。普。吳。越。に。討。つ

三 九月宋。曹。彬。と。遣。し。て。唐。七

三 十月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 十一月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 十二月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 正月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 二月。唐。の。破。る。李。煜。八

三 三月。唐。の。破。る。李。煜。八

朔一条の院先れ治す。十月廿二日内裡をくろ

二月廿日平野の幸。十月廿七 彦 六月藤原正死す。九月 月道普と司徒とす

二月十九日太子元服。八月廿日 幸 九月遼景宗死す。七 子此隆緒はく国とす

三月内融寺。十月廿五日兼 榮 契丹六聖宗統元 八 契丹とたつ

八月廿七日太子師負と禪 甲申 五月乾元文明殿天火 雍 是焼る。

九月九日内融院。大上天皇。此号と上る。十月十日即位

和寛 五 花山 諱師負。冷泉院 乙酉 才一此皇子母大臣伊弉乃いよと懐子と

二 六月廿三日帝。花山寺と飾と落 丙戌 二月李继先契丹 三 降参す。十二月契丹 女と李继先よわす

一 六月廿四日太子禪と受ある。七月 五藤原の詮子と皇后。十六日 居貞親王と太子と。廿二日即位。同日花山の法皇後行す

延永 六 一条院 諱懷仁。内融院 丁亥 一此皇子母大臣兼家此女詮子と即位す

一 廿五年。二月十六日故天合此座生良源と慈惠大師の 号と賜す。十月八日石清水の幸。十一月十五日賀茂の幸。 内融院南都の諸寺の幸。元禄六年まで七百七年より

二月廿五日兼家比六十九の筆と賀戊子正月帝籍田耕と
せらる。七月廿八日春と禁す。趙普と大徳とに

祿永 六月廿六日賴忠死と藤原公と己丑八月宛室李塔と作る
盗す。八月十三日大凡。九月廿九日。秋より冬まで雨やす

正 正月五日帝御元服。二月二日西廣契丹李繼迁と封
大僧都余慶と天台座主とに宣命乃使。少能遠山
法師。宣命と打。十二月兼家。大政大臣と任む

曆 正月五日帝御元服。二月二日西廣契丹李繼迁と封
寺。燒る。青道隆攝政とす。て夏王とに

二 二月十一日融院崩御。壽光帝。正月雨やす。帝身と
三月九日融寺の北原に葬り。焚て天乃譴と志せん
御骨と村上方の山陵の傍とす。とに翌日大雨やす

三 六月大政大臣為先死す。正一位。惠方百卷と作し。〇七
と贈り恒徳公とせらる。〇
十月十四日平野比社と幸
〇十月皇太后詮子出家。東三条乃院といふ院号とす

四 正月三日東三条乃院と幸。〇七。首山念禪師寂と。〇
月廿九日左府雅信死す。〇秋苑。十月天下乃郡縣と分
院とせらる。〇十月廿七日大原野と幸。つて十道とす

五 四月より七月まで都人多く死す。甲午。正月医官命と太皇聖
五位より上六十七人死す。〇六月廿七日疫神乃為と御靈會
と修す神輿と三社造り舟形と置。礼とて難波とす

長 四月十日園白道隆死と廿七道と未。八月壽王元侃と太子
兼園白とたり。〇青月八道兼。〇一名と恒と更む

德 死と。〇四月より五月まで疫病とやり五位迄死す者六十九
人。〇九月十五日僧資信身と燒。法皇公とに九と拜と

年代紀

二	正月十六日法皇密よ直徳公乃家幸伊周隆家比家人凡と射る四月廿四日伊周と筑紫隆家と出雲より	甲	二月太祖の孫惟吉と	二
三	八月八日東三条院石山と奏請 ○十月朔大宰府より南蛮乱入て物と奪取りと奏す	酉	三月帝崩す太子位 よとく○十二月李繼先宋より降参す	三
四	七月天下に疫病と煩る者な成 一世は稍自瘞して佐伯公行 独病す○同廿五日佐理死	戌	才真宗 諱恒天皇 子可乎在位平 廿五年○正月彗星いつ	二
長保	五月十四日門裡をく	巳亥	六月曹彬死す	二
二	二月廿五日友原の鞆子と皇后 と○三月廿七日後堂をく	庚子	益州の成平乱す 王鈞と將す雷有	三
	終る勅してこれと成し十月王鈞と死す			

三	疫病とる五月九日疫神と此野に祭り今宮と崇し○二月廿九日行成世尊と供養○十一月十八日東宮をく○同十二月廿二日東三条院崩す	辛丑	新乃贊皇太子と祭す	四
四	三月十五日僧寂照宋より	壬寅	十二月田錫死す	五
五	三月甲子清水と幸廿六日賀茂 と幸○十月八日新造竹裡と遠幸	癸卯		六
弘觀	十月廿一日北野平野と幸	甲辰	七月李沆死す	二
二	二月伊周許して参り大綱 言上より○十月十五日神鏡やけ損す	乙巳	十月畢士安死す	二
三	十一月二日造宮とる○惠安僧 都に乗要決と作る	丙午	祝山乃智田顯性録 四美とく	三
四	三月十三日春宮乃性空と殺す ○月百道長金安山と参詣	丁未	下謂景徳會記録 とたてま川	四

五	二月八日花山の法皇崩御。壽四。帝。十月孔子の教。聖文宣王。加へてくらす。	大
六	七月廿八日具平親王薨る。十月五日。酉。日皇居やうろ二代の御記。焼る。十月廿五日。後朱雀。ひまらふ。	二
七	十月廿八日新造の宮より。後子。慶。	三
八	六月十三日位と居貞親王より。卒。妻。呂蒙正。死す。	四
和	山長坂野の苑。葬る。十月十六日即位。同廿日。冷泉院崩御。壽六十二。十月十六日。櫻本寺の前。北野にて。火葬。奉つる。	五
七	三條院。諸の。貞貞。院。子。契母。開泰元。十月。景。聖。宮。と。作。る。孔子。の。と。く。り。名。と。改。て。至。聖。	五
六	政兼家。娘。超。子。と。い。は。れ。在。	

二	五年。十月廿二日。大嘗會。	文宣王とら	六
三	二月廿四日。東西の山。雪。つる。十月。十一月廿八日。石清水。の。幸。十二月。十五日。吾賀。茂。の。幸。		七
四	二月九日。内裏。や。つる。五月。十六日。甲寅。十月。玉清。昭。應。宮。の。つ。道長の。詔。幸。競馬。騎射。の。御遊。あり。八月。廿日。大凡。		七
五	九月。新造。の。内裏。還。幸。十月。卯。種。放。死。と。月。廿五日。道長。五。十。七。賀。十月。十七日。内。裡。ま。と。ら。つる。	八	八
六	正月。廿九日。位。と。大。子。の。禪。あり。二月。辰。六月。畿。内。の。蝗。あり。月。七日。即位。同。十三日。三。條。乃。院。上。天皇。聖。武。の。教。明。親。王。と。大。子。の。道。長。と。攝。政。と。す。十月。十五日。大嘗會。	九	九
七	仁。寛。後。一。条。才。二。元。皇。子。母。の。攝。政。道。長。乃。娘。東。門。院。彰。子。と。い。は。れ。在。と。廿。年。三月。頼。	天	九

通攝政とす。五月九日三条の院崩御。壽四十二。石垣
苑并る。八月九日敦明親王太子と敦良を譲て小一条院と号す

二月三日帝御元服。四月廿八日戊午八月受命と天子より
新造乃内裏と遷幸。名と禎と何と云ふ

三月廿一日道長出家。八月廿八日己未錢塘の沙門。道誠。款
太子元服。十月頼通皇自とす。氏要覧と作る

四月十三日壬子帝御抱瘡。七月七日丙申契丹大平元。高兼
月廿二日大代殿門をぶる。らびいれり

七月十四日道長法成寺と作て。二月帝崩。太子
実資右府。教通門府とす。契丹大平元。高兼
供養す。帝公にと仰て幸御。らる契丹より貢とす

正月二日朝觀の行幸。二月帝崩。太子
齋會を准せらる。八月四日北野まつり

三 正月二日朝觀の行幸

癸亥 二月 帝崩。太子

二 八月三日後冷泉院ひまらふ

甲子 四月 三年

三 影子髪と落し法。上東門院と

乙丑 六月 京師雷なり雨あり

四 二月廿七日右近乃府并は國春

丙寅 大水。屋とやがる溺死
ものす者。数百人

察。燒る累代。北室物。灰とす。五月廿四日雷電洪水。十三

丁卯 二月 張知自死。三月 張

月朝。御堂の白道長。薨る。同日行成死す

二月 張知自死。三月 張

六月平也忠常。下総と謀反とす。戊辰

二月 張知自死。三月 張

二十月	都腫病とや福来病と	巳	二月曾宗道死す	五七
二十月	同日別院大臣公季死す		清昭心官や	
三	八月廿日東門院東北院と供養	庚午		八
三	同日九月直方敗軍して既る同日源の頼信勅を奉てむ			
四	五月十六日頼信忠常と具して之平未	平未	六月契母の聖宗死す	九
四	其美濃の国と忠常病死と		子に宗真と契母	
四	その首とさうして獄門にさす		與宗景福元	
五	春夏大旱し宇治川と安之行	辛	契母重元	道
六		癸酉	二月彗星い	二
七	五月九日近江より白鳥とさぐ	甲戌	七月趙元昊謀反し	景
七	七月十八日後三条生し		廣運と年号す	祐
八	秋の教田阿闍梨とかなる			
八	五月十七日高院院才と哥舎也	乙亥	七月睦親宅と作る	二

九	四月十七日帝崩御壽廿九同日	丙子	五月勅して職と起て	三
九	太子祚と副の五月十九日淨土寺		と氏子とと誠し	
九	火葬し奉る		二月東坡む	
九	七月十曾即位			
長	六 詔ハ教良先帝の	丁丑	十一月地震屋破して	四
長	九 後朱雀		歴れ死と者二方二	
長	年〇三月朔の皇子と中官と		千三百人傷け者五	
長	八月十七日親仁親王と太子とす		千六百人地震と泉涌	
長	元祿六年まで六百五十七年とす		火出ると黒沙と	
二	九月三井寺の明尊僧正と天名	戊寅	十月趙元昊帝と稱し	室
二	此座主とす		國と夏と号と延祚と改	先
三	二月十七日山門の衆徒頼通の	己卯	六月趙元昊が官位と削る	二
三	館と龍と直方と合戦			
長	八月十五日源氏家生る	庚辰	趙元昊入て冠す	康

又十月内裡をくら帝。東北院より迂り
職と越て事といふ乃定

○十二月廿五日平野より幸
禁城のぞく

二 五月勅して二并寺此戒壇と並や否
八月趙元昊豊州と
曆

三 諸宗より○十月新造内裡より
壬午九月宋と契丹と和睦

四 大よひでりす
癸未正月趙元昊名と曩

寛 十月上東門院の不例より
甲申十二月帝趙元昊と夏

徳 幸わり
國王とす

二 正月十六日位と天子親仁より
乙酉山谷ひまら

の同日尊仁親王と天子とす十八日帝崩御壽七
二月廿一日高隆寺より火葬しきてまの御骨と回教寺

よたさひ○四月十八日即位

永 七 後冷泉 詔ハ親仁先帝才也 丙戌
皇子母ハ攝政道長ノ娘。嫡子といふ位は在り廿

三年○正月十八日右大臣実資死す○五月十六日仁海僧正寂す

○七月後一条乃院皇女章子と中宮とす○十月春大嘗會

二 八月教通右大臣より任ト頼宗門 丁亥 土月貝外乃王則及て

大臣より任ト 東車王と稱し得聖

三 九月河内守源乃頼信死す 戊子 閏正月文彦博王則と

執て諫す○夏元昊死す子乃諫祚はぐ○五月雲無て雷る

四 十月仙舎利と一粒づ諸国の神 己丑 ●西夏二英宗 寧国元皇

社よれとさし ○九月廣源列の靈 祐

儂智高謀反して南天國と稱し景瑞と年号す

五 十一月朔旦冬至 庚寅 西夏 天祐垂聖元

二

年代記

卷五

六

六	三月廿八日、関白頼通、平家院と建立す。○奥州、安房の頼時、謀反す。○源の頼茂、陸奥守となる。	癸巳	六月、源の頼茂、陸奥守となる。禁す。	三
七	五月六日、東門院病より幸す。	辰	五月、范仲淹死す。	四
天	自河内院生じ、○頼茂、鎮守の府の将軍とす。○頼時と討つ。兵と鎌倉よりわかれ。	癸巳	西夏、福聖承通元。○正月、狄青、儂智高と伐てなす。	五
二		甲午		至和
三	十月廿五日、円乗寺に供養す。	乙未	●契丹、道宗、清寧元。	二
四	七月、慧星いづ。	丙申	六月、大水。慧星いづ。	嘉祐
五	九月、頼茂、奥州より頼時と合戦。頼時、矢よ中りて死す。其子、負任。河崎の柵を籠る。十一月、頼茂、親子、負任と戦て敗軍す。頼茂の兵、六騎、奮ひて	丁酉	西夏、成徳元。	二

ふて敵とありぞけ鎌倉よりへん

平康	二月廿六日、大極殿をくら	戊戌	文彦博と潞国を封す。	三
二		巳亥		四
三	五月四日、眞福寺をくら。○七月、頼通、左大臣と辞す。	庚子	六月、歐陽脩、新唐書、二百廿五巻と撰でなす。	五
四	十二月、頼通、大政大臣に任じ。	辛丑	王安石と知制誥とす。	六
五	七月、出羽の国に住人、清原の武則、万余人と率いて頼茂に加勢す。○九月十七日、負任と突つらむ。宗任、家任、ホ降参す。	壬寅	八月、太宗、仁曾孫、濮王、允讓、世子、宗実と皇子と名と曝とあり。	七
六	二月十六日、頼茂、囚と京よりふ。頼茂と伊豫守に任じ、家と出羽守に任ず。○十二月上、東門院、三井の一乗院と成す。	癸卯	西夏、拱化元。○三月、帝崩す。皇子、位にす。	八

年代記

卷之七

御紀 卷之四

七	二月三日堀河乃右大臣賴宗死 ○十月法成寺幸	甲辰	才 英宗 諱八睦 太宗 元 尊孫在位四年	乙巳	二月三日堀河乃右大臣賴宗死 ○十月法成寺幸	丙午	契丹 契丹 天曆 大木 行 通	二	三月 遼 ○四月 通鑑	丁未	正月 崩 太子 位 ○五月 夏 諒 祚 死 子 承 常 祚	三	正月十日 吉 乃 社 や く ○十月 賴 通 の こ ふ ま り 平 等 院 に 幸	戊申	才 神宗 諱 瓊 英宗 太子 也在 位 十 年	四	四月十六日 賴 通 関 白 と 辭 を 敷 て 教 通 関 白 と な る ○同 十九 日 位 を 太 子 に 禪 多 し 即 日 は 崩 御 壽 四	八年	○五月 五月 五日 冊 也 よ 葬 る ○七月 廿二 日 即位 ○十月 廿二 日 大 嘗 會
---	--------------------------	----	-------------------------------------	----	--------------------------	----	--------------------------------	---	----------------------	----	---	---	--	----	--	---	---	----	---

久延	七 後三系 才二皇子母三系院乃皇女陽明院禎子 と子位在 四年 ○四月 廿八日 貞 仁 親 王 と 太 子 と す	二	十月十四日 祇 園 乃 社 を く 牛 頭 庚 戌 天王 足 燒 損 ど ○十月 仁 和 寺 乃 境 に 山 宗 寺 と す	三	正月廿六日 稱 荷 祇 園 に 幸 ○八 辛 亥 西 夏 天 賜 禮 盛 國 慶 元 ○ 六月 高 麗 貢 と す	四	四月廿九日 賴 通 出 家 ○十月 八日 位 を 壬 子 八月 歐 陽 脩 死 す	五	七月 白 河 院 諱 八 貞 仁 出 家 の 後 癸 丑 六月 周 茂 叔 死 す	六	大臣能信乃養子 實 權 中 納 言 公 成 乃 娘 乃 位 在 と
----	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	--

年氏

卷之四

十四年○五月七日先帝崩御。壽四十歲

二月二日賴通死。壽八十三。十月甲寅遼太寧元。三月早す。○七

三月東門院亮。壽八十七。王安石。官とくし。○八

八月十三日法勝寺。柱立棟上。○九月乙卯遼太康元。○八

其昔教通死す。○十月十五日師実。自と。○九

二月十七日久我の師房死す。○十二丁巳九月邵康節死す。○十

月十八日法勝寺供養。幸あり。張橫渠死す。○十

七月九日掘河。しま。○成平

八月源氏家。勅。源の国房。東坡の御史の獄。○二

源重宗と濃。○六月九日殿山の衆徒。一。○二

八月十四日信長。大政大臣。任。俊。元照。六物の圖。○三

家。右大臣。任。能長。内府。任。○三

三月晋身福寺。衆徒。多武乃。五月晋の程。○四

峰と。○六月九日殿山の衆徒。成信侯。一。○四

三井寺と。○三

夏。早す。○十月二日俊家死す。○十一。九月夏人。冠す。○五

月三日源の頼茂死す。時。十八歳。○五

正月俊房。左大臣。○二月仁和寺。○六

乃性信。二。叙。僧の位。是。○六

○十月朔。法勝寺。九重の塔成就。仕。○六

七月。○七

五月十日帝。法花経。受。○十。○程明道死す。○七

月朔。实仁親王。薨。○十

十一月廿六日位。善仁親王。禪。○七

○十二月十九日即位。师実。○七

○七

○七

攝政とん

元○夏比兼常死す子乃乾順つぐ○壬寅先死す○司馬先死す

七 堀河院

諱ハ善仁先帝。ホト
元皇子母攝政

丁卯

西夏六崇宗天保治

二

師実乃養子。賢子といふ実ハ右

元○正月王安石経後
乃字説と用ると禁す

大臣顯房女育り位在し廿一年○十月十九日大嘗會

元禄六年まで六百七年よとよぶ

二 二月廿五日上皇高野幸一御成展

呂大防と范純仁と尚
昏。左右乃僕射とす

三

影堂と開き大師の像と拜と

十月十曾師実。大政大臣に任ず

三 正月五帝御元服○源氏家。己巳

二月呂公著死す

四

將軍三郎清原武衡。同即家衡と金沢に歸む

四 正月上皇。熊野幸○十月帝清原

四月孫固死す

五

水幸一十七日宿一とまふ

五 二月八日上皇高野幸○十一月

西夏天祚民變元○東坡
と翰林李士言○三月

六

十四日茂家。金沢乃城と落し

武衡。家衡と誅と

吳防。神宗史録とす

七

六 七月上皇。金峯山幸

七 二月廿二日石とつり

右僕射とす

八

嘉 三月九日師通。白くなる○九月

保 五源の顯房死す

買東坡と英列と殿す

聖紹

二 八月七日郁芳門院死す

乙亥 遼壽隆元

二

秘 五月五帝。梅とく

長 平比盛。生る○八月十曾上皇。飾と落し

丙子 冬雷なり雹あり

三

承 三月帝。春日幸○九月朔。禁

丁丑 二月呂大防死す○五月

四

年代記

卷之七

德	八月四日洪水	文彦博死す	三
康	正月仁和寺乃覺行法親王す	西夏承安元	二
和	法親王是より始る○六月廿八日白師通死す		
二	七月七日忠実右大臣は任下源	正月帝崩す	三
	乃雅実。内大臣は任す	傳位ははく	
三	正月廿九日前乃白師実。宇治乃幸	才徽宗	建
	別業より出家。二月十三日死す	子あり在	中
四	徳廿六年●遼才延禧	元○正月范純仁死す	興
	七月廿日尊勝寺の供養。幸	西夏貞觀元○元祐乃	崇
	比人司馬光亦甲申の宮に敗す○伯夷の清惠侯叔孫は傳侯す		寧
五	正月十六日鳥羽院生	四月司馬光亦景靈	二
	三日金春大藏経と法勝寺慶	寫の繪像と成る	

す(八月十七日)宗仁親王と天子と

嘉	正月彗星○四月十二日賀茂の別	丙戌	正月彗星。西乃方子出	五
承	雷乃社をらる		長と天より	
二	七月十九日帝崩御。壽三千○十	丁亥	九月程正叔死す○十月	大
	二月朔。太子即位		乾寧郡を改め清州とす	觀
天	鳥羽院	戊子		二
仁	詔。宗仁法名。空			
	覺。先帝才一子。母八贈大政大臣実季の娘。子			
二	是位在。十六年○正月平北正盛出雲より源に後親を誅す			
天	五月彗星○六七月洪水飢饉	庚寅	六月張商英を右僕射す	四

年代記

卷之七

二 五月 高陽院此皇孫居らるる○十一 庚卯 遠天慶元○張商英を政
 月晋大江の匡房死す

三 五月廿八日大嘗少○十月 癸辰 九月更に官の名と定
 実。大政大臣は任じ

承 正月朔。帝御元服○四月 癸巳 正月王安石と進て舒王
 久 実。大政大臣と辞す○同月 乙未 西夏 雍寧元○正月 女
 朴と延曆寺と行ふ

三 四月廿八日久我の雅実。右大臣は任
 任す
 乙未 西夏 雍寧元○正月 女
 真。完顔。阿骨打。皇
 帝と稱し名を是と改

四 丙申 二月 大清室 録宮と作る
 六

五 正月朔。法成寺をらる
 丁酉 金天輔元○二月 帝上
 清室 録宮と幸し林
 業素と命て道経と
 講せしむ

承元 九月七日白河の法皇熊野に幸
 ○平乃清盛ひまろ○十二月 乙酉 三月 宋 馬政と金と使
 最勝寺の供養。帝。行幸

二 五月廿八日崇徳院ひまろ
 己亥 五月 京師に龍。見る兵
 取て食ふ大雨少し七日京師の外に水の高と十夫あまら来
 乃津よ都してより百十年いまで此の如くはるる

二 正月廿二日忠実。白と辨す三月
 庚子 西夏 元徳元
 卒也 遼 保大元○七月 黑骨
 禁中に見る或人乃形

神代記

門の衆徒。三井寺と号す。○十月
十二日堀川の左大臣俊房死す

とがり或騎馬とがり
腥血いつろ

十二月十七日雅実大政大臣。忠通左
府家忠右府有仁心府子佳す

三月金の粘没喝。遠と
伐遠は去。夾山は去る

三

正月廿八日位と顯仁親王。禪まふ

●大金太宗天會元

五

二月廿九日即位。忠通攝政しむる。○十月十八日大嘗會

天

七 崇徳院 諱ハ顯仁先帝才一甲辰
五 皇子母大細言公

三月金より糶と索し
も子と○都に罷生
ら女あり勅して道士
とす

六

実の養待賢所院瓊子と即位
ま在し十八年○尊祇園臨時

此祭と行か○元禄六年まて五百七十年まどふ

二

十月九日石清水に幸。廿日賀茂

●西遼一徳宗耶律大
石延慶元○正月金の

七

婁室。遠乃主延禧と獲て飯る。遠九代二十年よりて云ふ。○九月
朔。御榻より升りて坐す。○帝位と太子桓とゆはる

大

七月葦原いはる

丙午

九 欽宗

諱ハ楨徽宗代
子がり在位

康

二年○金の師。大に宋と侵む。宋大原中。河間の三鎮以
金より昇て和睦とらふ。○宋北康王構。師と帥して宋とまらる

二

二月十日神祇宮の八神殿より丁未

●高宗

諱ハ構建

建

○同十音久我の雅実死す。九

九天子より徽宗欽宗

炎

月十日後白河。生れまふ。○十月兩
上皇。高野。白河。鳥羽に幸。○
俊頼。金葉集とさくく

金人より位より即都
と臨安よりつと○西遼

○西夏正徳元○徽宗欽宗。金より降参す。金人はれて

うへる。北宋九代。百六十七年

新元
年

年表

卷之三

七

三	三月十三日 勝寺に供養。帝幸。戊申 正月帝揚州よりゆく	二
四	正月朔。帝御元服。○七月七日 巳酉 買帝位を復す。○十月 三 白河乃法皇崩御。壽七十七 隙す帝海より江准の岳を金北師をなす	三
五	二月廿二日 貞白忠通の娘。聖 庚戌 正月金舟師より帝北 子と皇后す。○ 紅毛の船 舟と追し三百里張	四
天	公裕より却る帝。○九月 金判珠と帝とす 十月廿二日 家忠左大臣となり有 辛亥 三月張俊と岳を李 承 仁右大臣となり宗忠内府に任す 成と伐破る。○十月 吳玠 貞 元木より川に登る	紹
長	正月二日 法成寺に塔供養。○二月 壬子 十月李綱潭列に至 三日 得長壽院供養。○ 庚申 群盜と平く	二
二	四月七日 源空。○ 癸也	三

三	五月十日 石清水に幸。十九日 賀茂 甲寅 三月吳玠金北元 に幸	四
二	二月廿七日 皇春日に幸 乙卯 西夏大徳元。○正月 金 太宗。幸す太祖の孫。即位す。年号を改す。○金三宗元 三月廿三日 鳥羽の勝光院に供 丙辰 ●西遼二感天石 感清元 養。帝幸。○五月 十曾花出院 ○九月 岳を王貴と使 家忠死す。年七十五	六
三	八月廿二日 日者乃社に幸 丁巳 金北元。○劉豫より金北元 九月 上皇より御降下者	七
四	二月廿六日 中乃御門の右大臣宗 戊午 金天眷元。○二月 胡安国 忠山に家す。○ 紅毛の船 春秋傳をたてしん	八
五	五月十八日 近衛院に幸。八月十七日 己未 五月夏乃乾順死す子九 太子を。○十月廿六日 成勝寺供養	九

二月 前白
忠之輩
中史
中史

五位
十

政事
法
ハカ

海
平年

八月
大

六	五月廿五日山内乃能後三井寺 燒○六月五日忠実准三后之任 十月二日半准別業より出家	庸	●西夏五仁宗大慶元○十月 正月李綱死す○六月具 璘金乃兵と敗る
永	二月十日鳥羽院飾落し 乃諱空覚○十月七日位と天子 子禪母同廿七日即位鳥羽乃法 皇と院と号し崇徳院と新院と	辛酉	●皇統元○十月秦檜 岳と殺す○十月宋と 金と和議と表と上て 金と臣と称す
康	七 近衛院 六 長実乃娘美福門院得子と 皇新院宇治と幸○九月二日大凡雨洪水○十月十五日大嘗會 五月七日新院沓沓瘡同廿五日帝 沓沓瘡○六月十八日二条院生	壬戌	●西夏三仁宗夷烈紹興 元○尹焞死す
二	○十二月十日根来大覚鑑遷化 五月九日法皇の沓沓瘡と○六月 二日頭輔詞花集と撰す○七月 廿日少納言通憲出家信因と号	癸亥	沙門法雲翻譯名義 集七卷と撰す○帝六

久	四月十日六月奉皇 八月日法皇天皇寺と奉 二月鳥羽院と幸○十月三日 三月八日頼朝生る○六月十日 の會平北忠盛が即本所司と ふ廿日延暦寺に衆徒神興代 動く平の忠盛清盛と流んとす	乙七	●經と有大學と 十月何若程子の学と 黜りんとす秦檜と は従ふ
安	○十二月十日根来大覚鑑遷化 五月九日法皇の沓沓瘡と○六月 二日頭輔詞花集と撰す○七月 廿日少納言通憲出家信因と号	甲子	十月何若程子の学と 黜りんとす秦檜と は従ふ
三	二月鳥羽院と幸○十月三日 三月八日頼朝生る○六月十日 の會平北忠盛が即本所司と ふ廿日延暦寺に衆徒神興代 動く平の忠盛清盛と流んとす	丁卯	十月蒙回と祖元 皇帝と稱し天與と 年号とす
四	三月廿九日秋園の社 育内裡燒る○七月十七日法性寺の供養 上皇幸	戊辰	

年代記
卷之三

二月忠通
大政大臣
藤原時
藤原時
正月
忠康
年
壬午
年

五	三月廿日延勝寺に供養帝幸○十巳巳 月廿五日忠通再大政大臣に任ず ○西夏天盛元	十九
六	正月甲子帝元服○九月廿六日忠通 通氏の長者に任ず○十月廿日法勝寺に切經の供養帝幸	二十
仁	正月十六日左大臣頼長隨身兵杖と奉末 八月韓世忠死す	廿一
平	賜ら氏の長者に任ず	
二	三月七日法皇幸これ籍を賀せらる 五月襄陽大水	廿二
三	四月頼政越とわろ○九月廿日大凡 新造の内裡に南殿と吹倒と	廿三
久	五月廿八日久我乃雅定出家○十一 甲戌●西遊四弟天石崇福元	廿四
秀	月廿八日源氏為美官と解る其子に為朝 鎮西の遊行まつて也	廿五
二	七月廿三日帝出御○壽七明日 壬亥十月秦檜死す	
	雅仁親王と祚と踐治す○八月惠源大友平 武彦死す叔父の	

院中ら
政司元
亦修事
任
法皇
攝政大臣

元	保 七 後白河	廿六
七	後白河 行真とつ鳥羽院才四の皇子母八景徳院に同ト	
位	位一在し三年○七月廿日鳥羽の法皇崩御壽五十四 同日左大臣頼長新院に謀及と勸し新院白河殿に遷り治す 源の為我平此忠正新院と守護と為我が子美朝忠正経 清盛勅と奉て白河殿と改る新院元年敗し頼長矢中て 我と被る二十日新院出家十四日頼長死す廿三日新院と讃 成し一為我忠正ホと誅す為解法流	
二	七月十五日左大臣実能の家九月丁丑 六月湯恩退と尚春右	廿七
二	二月死す徳大寺と号す	
三	八月十日位と天子と禪もふ十二月戊寅 僕射とす	廿八

年代記

卷之七

廿五

延治
 建長
 永承
 保元
 長承
 保元
 長承

二年
 平家
 資盛
 資盛
 資盛
 資盛
 資盛
 資盛

仁

七	六条院	諸道仁先帝皇孫	丙戌	十二月葉職と魏祀と	二
九	六条院	母六条院左棟梁乃		尚左右の僕射とす	
二	二月十日清盛大政大臣	任下	丁亥	五月皇孫死す	三
三	二月十日清盛大政大臣	任下	戊子	八月陳俊卿と虞允文	四
八	高倉院	高倉院	己丑	五月乾道曆	五
應	八月高倉院	高倉院	己丑	と尚左僕射とす	

二

二	二月十日清盛大政大臣	任下	丁亥	五月皇孫死す	三
二	二月十日清盛大政大臣	任下	戊子	八月陳俊卿と虞允文	四
八	高倉院	高倉院	己丑	五月乾道曆	五
二	二月十日清盛大政大臣	任下	丁亥	五月皇孫死す	三
二	二月十日清盛大政大臣	任下	戊子	八月陳俊卿と虞允文	四
八	高倉院	高倉院	己丑	五月乾道曆	五

義

二

二月十日清盛大政大臣
 任下
 五月皇孫死す
 八月陳俊卿と虞允文
 五月乾道曆

三月廿五日
 若素行
 船六名
 九月廿五日
 福十名
 西首志

三	三月宋乃使。福原。来り。貢とす。癸巳。三月。宋乃使。大上。帝。の。従。ひ。て。九。景園。の。幸。	四	三月十九日。法皇。女。院。伊都。伎。嶋。の。参。詣。○六月。十四日。祇園。會。法皇。御。決。然。	乙未	八月。趙。鼎。の。去。傳。の。贈。り。豊。國。公。の。封。す。	二	六月。朱。熹。の。引。て。秘。旨。の。即。と。す。至。也。	丙申	六月。朱。熹。の。引。て。秘。旨。の。即。と。す。至。也。	三	六月。朱。熹。の。引。て。秘。旨。の。即。と。す。至。也。	丁酉	海。準。禪。師。の。引。ま。り。	四	正月。廿五日。平。北。重。盛。左。大。將。の。任。す。○二月。十九日。帝。の。御。決。然。○三月。廿九日。高。雄。北。文。覚。院。内。の。参。詣。○四月。廿九日。高。雄。北。文。覚。院。内。の。参。詣。○五月。廿九日。高。雄。北。文。覚。院。内。の。参。詣。○六月。十四日。祇園。會。法皇。御。決。然。
---	--	---	--	----	---------------------------------	---	-------------------------------	----	-------------------------------	---	-------------------------------	----	------------------	---	---

四月廿五日
 内方住仕

三月廿五日
 伊豆園
 六月廿五日
 京中人家
 多額割

二	正月。七日。禁。里。の。改。成。○六月。廿三日。禁。里。の。改。成。○十月。四日。山。門。の。修。築。の。始。り。○十一月。七日。蓮。花。院。の。修。築。の。始。り。	五	二月。廿七日。禁。里。の。改。成。○六月。廿三日。禁。里。の。改。成。○十月。四日。山。門。の。修。築。の。始。り。○十一月。七日。蓮。花。院。の。修。築。の。始。り。	三	成。親。康。親。の。赦。し。て。改。治。○五月。十日。己。亥。夏。ひ。で。り。す。特。子。院。の。清。水。の。祇。園。の。戦。ひ。八。坂。乃。塔。の。焼。け。○七月。廿八日。平。北。重。盛。死。す。年。甲。子。○土。月。七日。大。地。震。○同。十四日。清。盛。法。皇。と。鳥。羽。乃。離。宮。の。押。あ。れ。大。臣。以下。九。人。の。官。位。を。削。り。○二月。廿七日。禁。里。の。改。成。○六月。廿三日。禁。里。の。改。成。○十月。四日。山。門。の。修。築。の。始。り。○十一月。七日。蓮。花。院。の。修。築。の。始。り。	六	二月。廿七日。禁。里。の。改。成。○六月。廿三日。禁。里。の。改。成。○十月。四日。山。門。の。修。築。の。始。り。○十一月。七日。蓮。花。院。の。修。築。の。始。り。	四	二月。廿七日。禁。里。の。改。成。○六月。廿三日。禁。里。の。改。成。○十月。四日。山。門。の。修。築。の。始。り。○十一月。七日。蓮。花。院。の。修。築。の。始。り。	七	二月。廿七日。禁。里。の。改。成。○六月。廿三日。禁。里。の。改。成。○十月。四日。山。門。の。修。築。の。始。り。○十一月。七日。蓮。花。院。の。修。築。の。始。り。
---	---	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

年式巳

年式巳

年式巳

和養

一八安徳

詔言仁先帝才一の奉也七月日祖謙死す東

葉と号す八月玉

嶋よ幸○四月廿二日即位○五月十四日法皇都と出武吉因統す
有法皇才死皇才以信遠流此宜自此夜三平才逃向多廿日
頼政三井寺参る廿六日宇治合戦頼政八自害高倉宮
以仁高明山を知ら中り斃る○六月二日清盛が計りて都と橋
作福原より川と○七月十五日後鳥羽先しあ○八月七日頼朝
文養の申より院宣と頂戴伊豆の所を兵と奪○
九月七日木曾俊仲信濃を旗と奉る追討使維盛忠度
三万騎を向○十月七日頼朝常胤が計りて鎌倉に入る○
十一月二日維盛忠度逃散る○同廿五日清盛都と平安城を復す
○十二月二日追討使知盛資盛道と分てひふ十日三井寺を焼
廿七日重衡東大寺と真福寺とを焼とらふ拍返通つる

礼門院得子と以依御在は三年

准と右交相とす

○正月十曾先帝崩御壽廿一清原才と死す○二月十日知盛と
づらまより敗浴○同二月四日清盛死す○同十五日重衡東国よ
ひふ○三月十日里室侯合戦十郎行家敗軍す○八月十三日友
原の秀衡陸奥守と任と城の四郎と越後守と任と頼朝
俊仲と任と○同十六日通盛小北陸道とひふ○九月三日城
の四郎頼死す○十月廿一日通盛行盛敗浴す

承勅

八月十二日頼朝の嫡子頼家ひま
る○九月九日俊仲越後乃横田
河原を合戦城の長茂才
と討破り威と北陸道と振ふ五日討破り此怒と京よりふ○
十一月廿四日大志やうと

壬寅九月玉准と梁克家と
と左右の丞相と樞
密使と兼し

二四月廿三日維盛以下北国とひ 癸卯三月李養統復治 十

年代記

卷二二

七

五月十一日越中。砺波山合戦。

平家。敗軍す。同廿一日篠原

合戦。平家。乃実盛討死。維盛

亦。敗軍す。○七月廿日實盛ハ宇

治。ハハ重衡ハ勢多。向。木曾。同廿四日

皇。小。山。幸。平家。帝。取。奉。西。国。落。廿

七月法皇。還。幸。廿八日。行。家。京。入。八。月。六。日。平。家。公。之

の。官。位。と。同。廿。日。法。皇。勅。尊。成。親。王。御。室。な。り

て。祚。と。踐。の。九。月。清。経。豊。前。乃。所。取。身。と。投。死。す。○

同。廿。日。院。宣。ま。つ。て。西。国。向。ハ。同。十。月。春。頼。朝。の。代。官。

義。経。上。洛。由。と。京。ま。つ。る。○。十。月。八。日。行。家。西。国。ハ。○

同。十九。日。院。乃。所。取。と。燒。松。ハ。法。皇。と。五。条。の。所。取。押。所

攝。政。下。同。十九。日。の。官。位。と。ナ。リ。○

通鑑長編九百八十七

卷之七

陳賈。道。學。氏。禁

せん。と。ふ

